

令和1年度 第2回下呂市地域公共交通会議議事録

1. 開催の日時及び場所

- ・日時 令和1年12月4日 10時開会
- ・場所 下呂市ふれあいセンター3階会議室（下呂市森922番地6）

2. 出席状況

委員20名中 18名出席（内、代理による出席者 6名）

3. 会議次第

（1）開会

（2）会長あいさつ 下呂市長 服部秀洋

（3）報告事項

報第1号 委員の交代について

岐阜県公共交通課長が異動により交代したことから報告した。

（4）協議事項

会長が議長となり、議事を進めることとなった。

議第1号 小坂地域の新たな公共交通の承認について

小坂地域でデマンド運行を実施することについて承認を求めた。

（質疑応答）

山下委員（バス労働組合代表）

「現場運転手からの考えとして参考にしていただきたいが、下呂温泉病院また眼科に通院される方がいる。そのような人の足を確保するためには、下呂高山線に接続するような時刻表を考えていただきたいと思う。時刻案では小坂町が7時55分着だが、下呂行が7時50分に通過するのでそれに合わせれば下呂方面に行ける。住民の方も安心するのではないかと思いますので検討してもらいたい。また反対に下呂から高山へ行くバスが小坂町で毎時38分着である。これを見ると鹿山行が55分発で接続が可能となっている。その点も含めて時刻表を見直しすれば住民も安心できるかと思う。」

事務局

「そのことについては、ダイヤ全体に影響してくるため今後の検討とさせていただきます。」

岩佐委員（小坂地区代表）

「今日までいろいろと小坂地域自治会でも検討を重ねてきた。練るところは練ってきたので、こういう方向で進めていただければよい。」

倉内委員（学識経験者）

「二点確認させてほしい。一つは8ページダイヤ案の中に小さく記載してある通り、土日は運行しないということか。そのあたりもしっかり地元の方と話しをして了解を得てやってほしい。もう一点、予約の締め切りが1、2便は前日まで、当日も3時間前までということでどちらかというとはかのデマンドよりかなり前に締め切るかたちになっているように思ったが、理由はあるか。」

事務局

「事業予定者と打ち合わせた中で配車等を鑑みてそういった時間としている。」

倉内委員（学識経験者）

「かなり早く予約しなければならないため結構使いにくいと思うが。」

事務局

「下呂からの配車ということでその時間になる。」

野中委員（運送事業者代表）

「運行管理の問題で、小坂地域まで下呂からジャンボタクシーで走ると約20～30分かかるため、その分早めの予約ということになる。この運用については随時運行の状態を見ながら早められるように努力していきたい。」

倉内委員（学識経験者）

「始まってからで結構であるが、住民の方が楽に使えるように検討いただきたい。」

議第1号について、挙手による採決を行う。

採決の結果、挙手多数で承認された。

議第2号 乗合バス路線の廃止の申し出にかかる意見について

岐阜県地域公共交通協議会へ濃飛乗合自動車株式会社から下呂湯屋線廃止の申し出があり、このことについて同協議会から意見を求められていることから、別紙のとおり意見を述べることについて承認を求めた。

（質疑応答）

加藤委員（運送事業者代表）

「廃止の申し出の理由にもあるように運転手の確保が厳しい状況となっている。大分頑張ってきてきたが収益に影響が出るということで今回申し出をさせていただいた。よろしくご理解をお願いしたい。」

第2号議案について、挙手による採決を行う。

採決の結果、挙手多数で承認された。

第3号議案 馬瀬地域の公共交通態様変更の承認について

馬瀬地域で公共交通の態様を変更（デマンド運行の実施）することについて、承認を求めた。

(質疑応答)

鈴木委員（岐阜運輸支局）

「小坂、馬瀬と共通した話となるが、網形成計画の中では幹線接続の話と半年間の実証運行だという表記がある。そのあたりのデータをしっかりとっていただき、10月からちゃんとやりますという、この形がいいということを地域と一緒に決めていただくのが一番いいと思う。車輛や運行方式、運賃などはこの会議にかけないといけないが、それ以外のダイヤとか乗降場所とかというのは地域で決めてもらって、10月に向けて柔軟に考えていただきやっていただければいいと思う。その時に説得する材料が全くないと困るので、しっかりデータをとってもらいたい。そうでないと網計画を策定した意味がない。」

第3号議案について、挙手による採決を行う。

採決の結果、挙手多数で承認された。

以上で協議事項は終了した。

(5) その他

意見、提案を求めた。

倉内委員（学識経験者）

「今回の議題はデマンドへの変更が中心だったと思うが、デマンドは乗降場所が増えるなど住民の利便性は向上すると思うが、一方では利用方法が面倒だったり、今まで路線を使えていた方が使えなくなったりというような可能性も十分ある。しっかりとフォローアップしていただき、広報もしっかりやってもらい、簡単に使えるということをぜひアピールしていただきたい。」

鈴木委員（岐阜運輸支局）

「時刻表の配布が3月からとなっているがもう少し早くできないかという気がする。時刻が概ね決まっていると思うので、使い方を提案できるように配布してはどうか。広報を打つタイミングもあると思うし、難しいとは思いますが検討されたい。」

事務局

「12月から住民説明会を予定している。いろんな意見が出るとは思いますが、反映させていきたい。時刻表と合わせて利用方法を記載したものを全戸配布で周知したいと考えている。時期については説明会終了後、印刷する期間を含め調整したい。」

(6) 閉会